

科目名	保健		履修学年	第1学年	
			履修形態	必修	
			履修単位	1単位	
使用教科書 (出版社)	最新高等保健体育 (大修館書店)				
使用教材 (出版社)	最新高等保健体育ノート (大修館書店)				
学習の目標					
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>					
教科担当者から					
<p>保健は健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康課題を認識し、これを科学的に思考・判断し、適切に対処できるようにすることをねらいとしており、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う上で中心的な役割を担っています。保健で身に付けた知識及び資質や能力を生かして課題解決などに取り組むことができるようになりましょう。</p>					
評価の観点・方法・割合					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解		
規準	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に取り組もうとしているか。ノートや提出プリントにしっかり取り組むことができたか。	個人生活や集団生活社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断することができるか。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を理解し、知識を身につけているか。		
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎	○	○		
提出物	◎	○			
定期考査		○	◎		
割合	30%	10%	60%		
評価の基準 ※ 満点を100点としたとき					
5	4	3	2	1	
100点～85点程度	84点～65点程度	64点～35点程度	34点～21点程度	20点程度未満	

学習内容							
学期	月	単元名/学習内容	学習のねらい	評価の観点			時間
				関	思	知	
前期	4	<b>1 単元 現代社会と健康</b> 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	○ 健康を成り立たせている要因を挙げることができる。 ○ わが国の現在の健康問題を挙げることができる。	○	○		4
	5,6	3 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり 4 生活習慣病とその予防 5 食事と健康	○ 健康に関する意志決定・行動選択には何が重要かを説明できる。 ○ 生活習慣病の例を挙げ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるかを説明できる。 ○ 健康的な食事のポイントを挙げることができる。	○	○		4
	6,7	6 運動・休養と健康 7 喫煙と健康	○ 運動が健康に及ぼす影響と、健康によい運動の行い方について説明できる。 ○ 喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できる。	○	○		3
	8,9	8 飲酒と健康 9 薬物乱用と健康 ○ 前期期末考査	○ 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策の例を挙げることができる。 ○ 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例を挙げることができる。	○	○		4
後期	10	10 感染症とその予防 11 性感染症・エイズとその予防	○ 新たな感染症の問題に関して例を挙げて説明できる。 ○ 性感染症とは何かを説明できる。	○	○		3
	11	12 欲求と適応機制 13 心身の相関とストレス	○ 人間の要求の種類を説明できる。 ○ 心と体の動きが相互に影響しあう関係について例を挙げて説明できる。	○	○		3
	12	14 心の健康のために 15 交通安全の現状と要因 16 交通事故を防ぐために	○ ストレスへのさまざまな対処方法の例を挙げることができる。 ○ 交通事故の発生に関係する要因を、例を挙げて説明できる。 ○ 運転手に必要な資質と責任を説明できる。	○	○		4
	1,2	17 応急手当の意義とその基本 18 日常的な応急手当	○ 適切な応急手当の意義を説明できる。 ○ 日常的な応急手当の手順や方法を説明できる。	○	○		3
	2,3	19 心肺蘇生法の原理とおこない方 ○ 学年末考査	○ 胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。 ○ 心肺蘇生法の各手順のポイントを挙げることができる。	○	○		4
	3	まとめ	○ 一年間の保健の授業の中で、興味・関心を持った単元・学習内容について、研究発表を実施する。(言語活動)	○	○		3
							35